

## 臨床皮膚・形成外科【Stage 1】

### 1. 実習の基本方針（目的・到達目標）

#### 【一般目標】

皮膚疾患・形成外科の基本的な知識・技能・態度を取得するために患者の間診・診療を行い、診断治療方針の立案過程、診療録の記載法・症例の呈示方法について学ぶ。さらに形成外科手術手技の適応についても学習する。

#### 【行動目標】

- (1) 身体診察を行ない原発疹・続発疹の言葉で皮疹を正確に記載できる。
- (2) 代表的な皮膚疾患（アトピー性皮膚炎・蕁麻疹・乾癬・白癬・類天疱瘡・疥癬・基底細胞癌・有棘細胞癌・悪性黒色腫・日光角化症など）の病態・診断・治療を説明できる。
- (3) 外来で簡便にできる検査（KOH法・Tzanck試験・パッチテストなど）を実施できる。
- (4) 褥瘡・熱傷を含めた創傷を見て、その評価をすることができ、創の管理方法を説明できる。
- (5) 代表的な皮膚疾患（乾癬・扁平苔癬・水疱症・基底細胞癌・有棘細胞癌・悪性黒色腫など）の病理組織を、病理スライドを見ながら説明できる。
- (6) 重症薬疹（Stevens Johnson症候群/toxic epidermal necrolysis、Drug induced hypersensitivity syndrome）について病態・診断・治療・検査法について説明できる。
- (7) 手術見学・縫合実習を通じて外傷初期対応について説明できる。
- (8) 手術見学・縫合実習を通じて創痕のアフターケアについて説明できる。

### 2. 実習の方法（内容・行動指針）

- (1) 週替りで外来グループと病棟グループに分かれる。
- (2) 外来グループでは、「皮膚科1診、皮膚科腫瘍外来、形成外科外来の各外来での診察・処置・外来手術等の見学」及び「手術室での形成外科手術見学」を行う。外来レポート、形成外科手術レポートを提出する。
- (3) 病棟グループでは、「皮膚科病棟処置回診見学及び担当患者の診察・処置・手術見学」を行う。入院担当患者レポートを提出する。
- (4) 実習最終日に、プレゼン課題（初日のオリエンテーションで与えられた課題）について、7分程度で発表する。
- (5) 担当以外の患者の皮疹も観察するよう努力する。重要疾患は鑑別診断も含めて学習する。
- (6) 手術見学については、特に希望する場合は、形成外科患者の手術を優先的に見学できるよう配慮する。
- (7) 評価は実習期間の学習態度、口答発表などから総合的に判断して行なう。

### 3. 実習上の注意事項

- (1) 外来では、必ず医師のそばで皮疹を観察し、触診なども積極的に行なうこと。
- (2) 症例のプレゼンテーションはメモを見ないで発表する。
- (3) この時間で不十分だと思う人は、春休み、夏休みに予め予約して見学に来てください。

### 4. 「医学生の臨床実習における医行為と水準」の例示

- 1) レベルⅠ：指導医の指導・監視の下で実施されるべき  
皮疹、褥瘡の診察と所見の記載。KOH法、Tzanck試験、ダーモスコピー等の検査。  
外用剤の塗布。
- 2) レベルⅡ：指導医の実施の介助・見学が推奨される  
切開排膿、外傷・熱傷の処置、プリックテスト、皮内テストなど、侵襲を伴う処置や検査

実習スケジュール  
第1週

作成者 波多野豊

	月	火	水	木	金
7:00					
8:00	8:30、オリエンテーション・ 症例説明と担当者決定(病棟医長)				
9:00	外来実習(後藤・梅木・清水・上原)	病棟実習	外来実習(波多野・清水・上原)	外来実習(波多野)又は手術見学(清水・梅木)	外来実習(後藤)又は手術見学(清水・梅木)
10:00					
11:00					
12:00					
13:00					
13:30			褥瘡回診(担当医)		
14:00	回診・症例検討				
15:00					
16:00					
17:00					

第2週 \*初日の集合時間・場所・月曜日8:30 5西皮膚科・形成外科カンファレンスルーム  
ただし月曜が休日の時、火曜8:30(皮膚科学医局前)

	月	火	水	木	金
7:00					
8:00					
9:00	外来実習(後藤・梅木・清水・上原)	9:00、ミニレクチャー(波多野) 病棟実習	外来実習(波多野・清水・上原)	外来実習(波多野)又は手術見学(清水・梅木)	外来実習(後藤)又は手術見学(清水・梅木)
10:00		病理組織実習(後藤)			
11:00					
12:00					
13:00					
13:30			褥瘡回診(担当医)		
14:00	回診・症例検討(受持ち症例発表)				
15:00					
16:00					
17:00					担当症例まとめ(波多野)